

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年2月23日まで（2012年2月17日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビード ファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券
	マザー ファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。</li> <li>・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。</li> <li>・モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。</li> <li>・外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビード ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・株式への実質投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において、当ファンドの純資産総額の15%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザー ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の15%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	毎年2月23日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

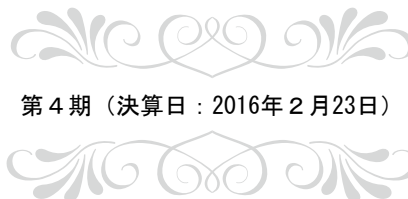
※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）



第4期（決算日：2016年2月23日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）」は、去る2月23日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
URL: <http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）のご報告

◇設定以来の運用実績 .....	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移 .....	2
◇運用経過 .....	3
◇今後の運用方針 .....	7
◇1万口当たりの費用明細 .....	8
◇売買及び取引の状況 .....	9
◇株式売買比率 .....	9
◇利害関係人との取引状況等 .....	9
◇組入資産の明細 .....	10
◇投資信託財産の構成 .....	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況 .....	11
◇損益の状況 .....	11
◇分配金のお知らせ .....	12
◇お知らせ .....	12

## マザーファンドのご報告

◇モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド ...	13
---	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数 MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2012年2月17日	10,000	－	－	10,000	－	－	－	1,685
1期(2013年2月25日)	10,825	400	12.3	11,212	12.1	81.2	－	2,675
2期(2014年2月24日)	11,259	300	6.8	13,546	20.8	93.2	－	1,912
3期(2015年2月23日)	12,475	300	13.5	14,711	8.6	93.4	－	824
4期(2016年2月23日)	12,503	300	2.6	13,217	△10.2	93.5	－	1,599

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

参考指数に関して

※MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て) (出所: MSCI) の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時 (2012年2月17日) を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

以下、本報告書において上記の「参考指数に関して」の記載を省略します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2015年2月23日	円 12,475	% —	14,711	% —	% 93.4	% —
2月末	12,624	1.2	14,765	0.4	93.4	—
3月末	12,556	0.6	14,662	△ 0.3	93.6	—
4月末	12,724	2.0	15,008	2.0	94.9	—
5月末	12,930	3.6	15,017	2.1	92.9	—
6月末	12,456	△0.2	14,586	△ 0.8	94.1	—
7月末	13,102	5.0	14,782	0.5	94.4	—
8月末	12,178	△2.4	13,955	△ 5.1	95.1	—
9月末	11,940	△4.3	13,073	△11.1	93.9	—
10月末	13,366	7.1	14,403	△ 2.1	93.1	—
11月末	13,250	6.2	14,374	△ 2.3	93.0	—
12月末	13,110	5.1	14,265	△ 3.0	91.0	—
2016年1月末	12,650	1.4	12,981	△11.8	95.6	—
(期 末) 2016年2月23日	12,803	2.6	13,217	△10.2	93.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

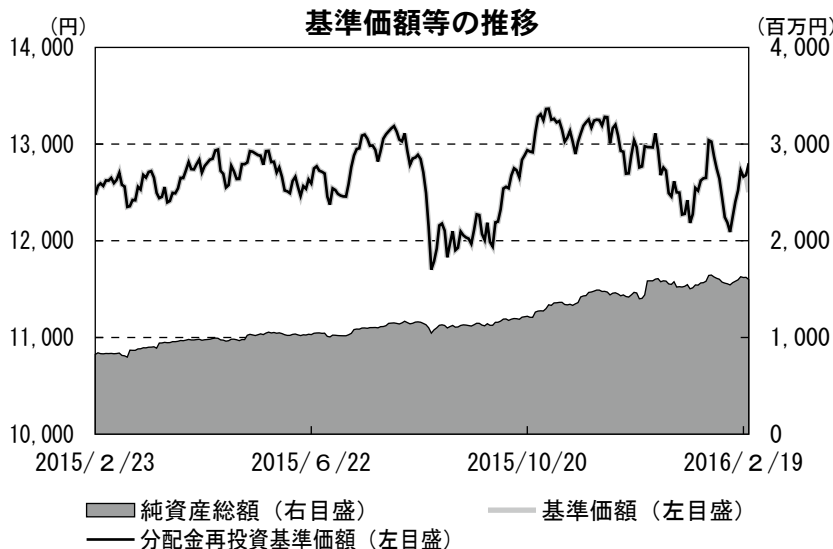
## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

（第4期：2015/2/24～2016/2/23）

#### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第4期首 : 12,475円  
 第4期末 : 12,503円  
 (既払分配金 300円)  
 騰落率 : 2.6%  
 (分配金再投資ベース)

- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

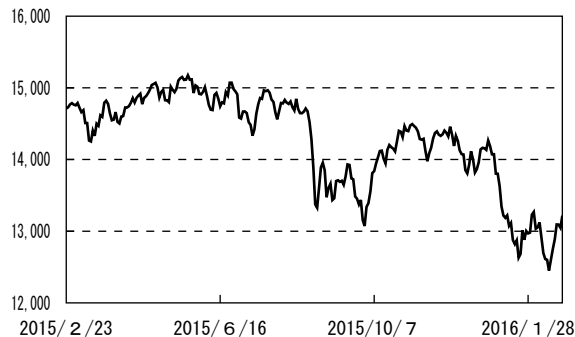
### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	日本たばこ産業（日本）、ナイキ（米国）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	21世紀フォックス（米国）、タイム・ワーナー（米国）などのメディア関連銘柄やサノフィ（フランス）の株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

（第4期：2015/2/24～2016/2/23）

参考指数の推移



- ・当ファンドの参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

### ◎株式市況

- ・期を通してみると、先進国株式市場は下落しました。中国の景気減速に対する警戒感や商品市況の低迷などを背景として、エネルギー、素材などのセクターを中心に総じて売り優勢となりました。しかし、当ファンドの組入銘柄の中心となる生活必需品セクターは底堅い推移となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）>

- ・モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針となっており、方針に基づいてヘッジを行いました。
- ・当期は、投資先通貨がいずれも対円で下落しましたが、対円で為替ヘッジが基準価額下落の抑制要因となりました。

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

- ・基準価額は期首に比べ2.9%の下落となりました。
- ・当期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

### ◎新規組入銘柄

- ・レイノルズ・アメリカン（米国、たばこ会社）  
足元のたばこ市場において相対的にマイナス要因が少ない市場と思われる米国中心の事業構成や、非主力ブランドの売却を通じて利益率の向上が期待できる点などを評価し、新たに組み入れました。
- ・ロレアル（フランス、化粧品会社）  
安定した利益成長力、低い資本集約度、高い収益性に加えて、ブランド維持に努める姿勢や有効なM&Aなどの経営陣の手腕を評価し、新たに組み入れました。

### ◎全株売却銘柄

- ・プロクター&ギャンブル（米国、日用品関連会社）  
同社が現在進めているブランド削減を中心とした経営合理化策では業績改善につながらないと判断し、全株売却致しました。
- ・インペリアル・ブランド（旧インペリアル・タバコ・グループ）（英国、たばこ会社）  
主要市場である欧州におけるたばこ規制の強化、英国やロシアにおける密輸・偽造タバコの増加の影響などを懸念し、全株売却致しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

- （プラス要因）
- ・日本たばこ産業（日本、たばこ会社）  
増配の実施や主力製品の値上げなどが好感され、株価が上昇しました。
  - ・ナイキ（米国、スポーツ用品メーカー）  
市場予想を上回る業績成長などが好感され、株価が上昇しました。
- （マイナス要因）
- ・21世紀フォックス（米国、メディア関連会社）、タイム・ワーナー（米国、メディア関連会社）  
米国における有料放送事業の先行き不透明感などが嫌気され、株価が下落しました。
  - ・サノフィ（フランス、製薬会社）  
市場予想を下回る業績見通しなどが嫌気され、株価が下落しました。

当期は、投資先通貨が対円で下落したことなどがマイナスに作用し、基準価額は下落しました。

（ご参考）

業種別比率

期首（2015年2月23日）

	業種	比率
1	生活必需品	54.3%
2	情報技術	17.7%
3	一般消費財・サービス	16.0%
4	資本財・サービス	4.3%
5	ヘルスケア	3.6%
6	金融	1.0%

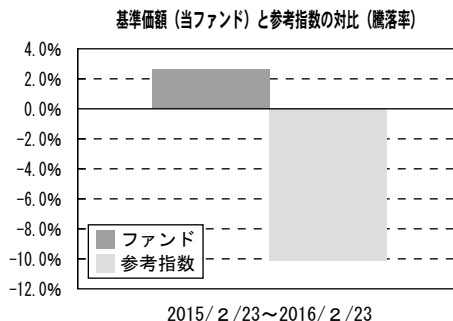
期末（2016年2月23日）

	業種	比率
1	生活必需品	54.5%
2	情報技術	23.2%
3	一般消費財・サービス	13.9%
4	資本財・サービス	2.9%
5	ヘルスケア	1.9%
6	金融	0.9%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・業種はGICS（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいています。詳しくは、後記「GICS（世界産業分類基準）について」をご参照ください。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2015年2月24日～2016年2月23日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.343%
当期の収益	130
当期の収益以外	169
翌期繰越分配対象額	2,502

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）>

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質外貨建資産について、原則として対円が為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

### ◎運用環境の見通し

- ・世界的な先行き不透明感の高まりなどを受けて値動きの大きな展開が続いておりますが、今後も、新興国の景気減速や政治リスクの高まりなどを背景に、世界の株式市場は不安定な動きが続くとみています。このように見通しが不透明でかつデフレが懸念される足元の状況では、銘柄選別の重要性が高まると思われれます。不確実性の高い事業環境においても、高いブランド力などを背景に高い価格決定力を有する企業については業績成長が可能であるとみており、このような企業群の相対的な優位性が高まる相場展開を予想しております。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足元は、「たばこ」「メディア」「ソフトウェア」などの「プレミアム企業」に注目しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年2月24日～2016年2月23日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社）  （販売会社） （受託会社）	248円 (144)	1.944% (1.134)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数） ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料  （株式）	9 (9)	0.071 (0.071)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有価証券取引税  （株式）	11 (11)	0.087 (0.087)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 （保管費用） （監査費用）	10 (9) (1)	0.080 (0.070) (0.011)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	278	2.182	
期中の平均基準価額は、12,740円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年2月24日～2016年2月23日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・ プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 641,106	千円 1,399,660	千口 269,464	千円 587,069

○株式売買比率

（2015年2月24日～2016年2月23日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	9,573,755千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,886,334千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.21

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2015年2月24日～2016年2月23日）

利害関係人との取引状況

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替先物取引	百万円 3,493	% 22.5	百万円 16,367	百万円 3,499	% 21.4	

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

○組入資産の明細

（2016年2月23日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 375,480	千口 747,122	千円 1,536,010

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2016年2月23日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千円 1,536,010	% 92.9
コール・ローン等、その他	117,007	7.1
投資信託財産総額	1,653,017	100.0

（注）モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（8,271,214千円）の投資信託財産総額（8,578,892千円）に対する比率は96.4%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=112.67円	1 ユーロ=124.29円	1 イギリスポンド=159.30円	1 スイスフラン=112.83円
1 スウェーデンクローネ=13.26円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年2月23日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	3,108,067,985
コール・ローン等	90,358,857
モルガン・スタンレー グローバル・ プレミアム株式オープン マザーファンド(評価額)	1,536,010,087
未収入金	1,481,699,041
(B) 負債	1,508,345,052
未払金	1,456,431,080
未払収益分配金	38,384,964
未払解約金	9,890
未払信託報酬	13,444,483
その他未払費用	74,635
(C) 純資産総額(A－B)	1,599,722,933
元本	1,279,498,822
次期繰越損益金	320,224,111
(D) 受益権総口数	1,279,498,822口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,503円

<注記事項>

- ①期首元本額 660,739,547円  
 期中追加設定元本額 959,927,522円  
 期中一部解約元本額 341,168,247円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2503円です。

○損益の状況（2015年2月24日～2016年2月23日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	24,218
受取利息	24,218
(B) 有価証券売買損益	39,895,047
売買益	249,493,461
売買損	△209,598,414
(C) 信託報酬等	△23,254,711
(D) 当期損益金(A+B+C)	16,664,554
(E) 前期繰越損益金	54,898,796
(F) 追加信託差損益金	287,045,725
(配当等相当額)	(141,271,502)
(売買損益相当額)	(145,774,223)
(G) 計(D+E+F)	358,609,075
(H) 収益分配金	△38,384,964
次期繰越損益金(G+H)	320,224,111
追加信託差損益金	287,045,725
(配当等相当額)	(143,286,896)
(売買損益相当額)	(143,758,829)
分標準備積立金	33,178,386

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項目	2015年2月24日～ 2016年2月23日
費用控除後の配当等収益額	10,161,916円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	6,502,638円
収益調整金額	287,045,725円
分配準備積立金額	54,898,796円
当ファンドの分配対象収益額	358,609,075円
1万口当たり収益分配対象額	2,802円
1万口当たり分配金額	300円
収益分配金金額	38,384,964円

- ③当ファンドの投資対象である「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に応じて別に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

20億円以下の部分に対して	年1万分の80
20億円超40億円以下の部分に対して	年1万分の75
40億円超80億円以下の部分に対して	年1万分の70
80億円超の部分に対して	年1万分の65

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金(税込み)	300円
-----------------	------

- ◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2016年2月23日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◆課税上の取り扱い
  - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
  - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
  - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
  - ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### 【お知らせ】

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われず。））の税率が適用されます。

### GICS（世界産業分類基準）について

Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.（以下MSCI）とThe McGraw-Hill Companies, Inc.の事業部門であるStandard & Poor's（以下S&P）が開発し、両者が排他的知的財産および商標を有しています。三菱UFJ国際投信は、許諾を得て利用しています。GICSおよびGICSの基準および分類作業に関連したMSCIおよびS&Pとその関係会社あるいは第三者（以下、MSCIおよびS&Pとその関係会社）は、当該基準および分類（あるいは、これらを利用した結果）に関して何らかの保証や表明を行うものではありません。また、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、GICSの独創性、正確性、完全性、販売可能性や特定の利用目的に対する適合性等を保証するものではありません。

上記のいずれをも制限することなく、いかなる場合においても、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、損害が発生する可能性を知悉していた場合であっても、直接的な損害、間接的な損害、特別な損害、懲罰的損害賠償、結果としての損害、その他の損害（逸失利益を含む）について、その責を負いません。

# モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

## 《第8期》決算日2016年2月23日

[計算期間：2015年8月25日～2016年2月23日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、  
2月23日に第8期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の15%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		(参考指数) MSCI ワールド・ インデックス(税引き後 配当込み米ドル建て)	株式 組入比率	株式 先物比率	純資 産額
	期中 騰落率	%	期中 騰落率	%				
4期(2014年2月24日)	円	%	円	%	13,546	%	%	百万円 8,298
5期(2014年8月25日)	16,611	11.7	102.59	3.7	14,336	5.8	97.9	5,160
6期(2015年2月23日)	17,890	7.7	104.19	1.6	14,711	2.6	96.9	6,762
7期(2015年8月24日)	21,182	18.4	119.08	14.3	13,891	△ 5.6	97.6	7,742
8期(2016年2月23日)	21,394	1.0	121.72	2.2	13,217	△ 4.9	97.4	8,553
	20,559	△ 3.9	112.67	△ 7.4				

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

#### 参考指数に関して

※MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て) (出所: MSCI) の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時(2012年2月17日)を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

以下、本報告書において上記の「参考指数に関して」の記載を省略します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス(税引き後 配当込み米ドル建て)	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率			
(期 首) 2015年8月24日	21,394	—	121.72	—	13,891	—	—
8月末	21,214	△0.8	121.18	△0.4	13,955	0.5	—
9月末	20,518	△4.1	119.96	△1.4	13,073	△5.9	—
10月末	23,235	8.6	120.90	△0.7	14,403	3.7	—
11月末	23,129	8.1	122.82	0.9	14,374	3.5	—
12月末	22,628	5.8	120.61	△0.9	14,265	2.7	—
2016年1月末	21,699	1.4	120.87	△0.7	12,981	△6.6	—
(期 末) 2016年2月23日	20,559	△3.9	112.67	△7.4	13,217	△4.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。



## 運用経過

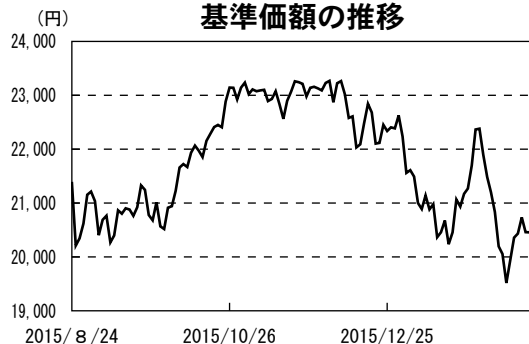
### 当期中の基準価額等の推移について

(第8期：2015/8/25～2016/2/23)

#### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.9%の下落となりました。

#### 基準価額の推移



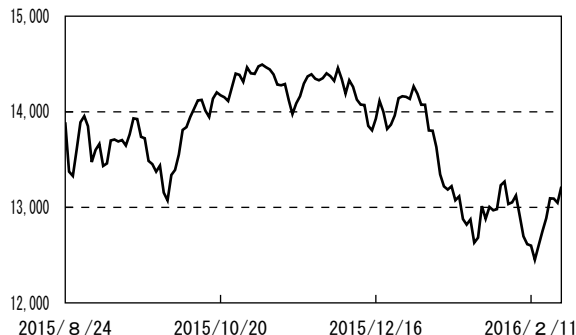
#### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	アルトリア・グループ（米国）、マイクロソフト（米国）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	21世紀フォックス（米国）、タイム・ワーナー（米国）などのメディア関連銘柄やサノフィ（フランス）などの株価が下落したことに加え、英ポンド、スイス・フランなどの投資先通貨が対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

(第8期：2015/8/25～2016/2/23)

### 参考指数の推移



- ・当ファンドの参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

### ◎株式市況

- ・期を通してみると、先進国株式市場は下落しました。中国の景気減速に対する警戒感や商品市況の低迷などを背景に総じて売り優勢となりました。しかし、当ファンドの組入銘柄の中心となる生活必需品セクターは底堅い推移となりました。

### ◎為替市況

- ・当ファンドの投資先通貨はいずれも対円で下落となりました。リスク回避の円買い需要などから総じて円高基調となりました。中でも、欧州連合（EU）離脱問題を背景とした不透明感の高まりなどが嫌気された英ポンドの下落が目立ちました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託していません。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

### ◎新規組入銘柄

- ・レイノルズ・アメリカン（米国、たばこ会社）  
足元のたばこ市場において相対的にマイナス要因が少ない市場と思われる米国中心の事業構成や、非主力ブランドの売却を通じて利益率の向上が期待できる点などを評価し、新たに組み入れました。
- ・ロレアル（フランス、化粧品会社）  
安定した利益成長力、低い資本集約度、高い収益性に加えて、ブランド維持に努める姿勢や有効なM & Aなどの経営陣の手腕を評価し、新たに組み入れました。

### ◎売却銘柄

- ・プロクター&ギャンブル（米国、日用品関連会社）  
同社が現在進めているブランド削減を中心とした経営合理化策では業績改善につながらないと判断し、全株売却致しました。
- ・インペリアル・ブランズ（旧インペリアル・タバコ・グループ）（英国、たばこ会社）  
主要市場である欧州におけるたばこ規制の強化、英国やロシアにおける密輸・偽造タバコの増加の影響などを懸念し、全株売却致しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

- ・アルトリア・グループ（米国、食品・たばこ会社）  
世界経済の不透明感の高まりなどを背景にディフェンシブ株が選好される展開などが追い風となり、株価が上昇しました。
- ・マイクロソフト（米国、ソフトウェア会社）  
クラウド事業の好調などを背景に市場予想を上回る決算を発表したことなどが好感され、株価が上昇しました。

（マイナス要因）

- ・21世紀フォックス（米国、メディア関連会社）、タイム・ワーナー（米国、メディア関連会社）  
米国における有料放送事業の先行き不透明感などが嫌気され、株価が下落しました。
- ・サノフィ（フランス、製薬会社）  
市場予想を下回る業績見通しなどが嫌気され、株価が下落しました。

当期は、投資先通貨が対円で下落したことなどがマイナスに作用し、基準価額は下落しました。

(ご参考)

業種別比率

期首 (2015年8月24日)

	業種	比率
1	生活必需品	54.2%
2	情報技術	19.8%
3	一般消費財・サービス	16.2%
4	資本財・サービス	3.7%
5	ヘルスケア	2.6%
6	金融	1.1%

期末 (2016年2月23日)

	業種	比率
1	生活必需品	54.5%
2	情報技術	23.2%
3	一般消費財・サービス	13.9%
4	資本財・サービス	2.9%
5	ヘルスケア	1.9%
6	金融	0.9%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・業種はGICS (世界産業分類基準) のセクター分類に基づいています。詳しくは、後記「GICS (世界産業分類基準) について」をご参照ください。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドの期中の騰落率はマイナス3.9%、参考指数 (MSCIワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て)) の期中の騰落率はマイナス4.9%となりました。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・世界的な先行き不透明感の高まりなどを受けて値動きの大きな展開が続いておりますが、今後も、新興国の景気減速や政治リスクの高まりなどを背景に、世界の株式市場は不安定な動きが続くとみています。このように見通しが不透明でかつデフレが懸念される足元の状況では、銘柄選別の重要性が高まると思われます。不確実性の高い事業環境においても、高いブランド力などを背景に高い価格決定力を有する企業については業績成長が可能であるとみており、このような企業群の相対的な優位性が高まる相場展開を予想しております。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足元は、「たばこ」「メディア」「ソフトウェア」などの「プレミアム企業」に注目しています。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年8月25日～2016年2月23日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7 (7)	0.030 (0.030)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	8 (8)	0.037 (0.037)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用)	6 (6)	0.028 (0.028)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	21	0.095	
期中の平均基準価額は、22,070円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年8月25日～2016年2月23日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		18	76,589	1	5,804
外国	アメリカ	百株 2,269 (96)	千アメリカドル 12,184 ( )	百株 1,028	千アメリカドル 7,459
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	35	243	6	45
	イタリア	123	95	22	17
	フランス	269	3,634	132	830
	オランダ	203	302	10	14
国	イギリス	1,040	千イギリスポンド 2,666	439	千イギリスポンド 1,442
	スイス	123	千スイスフラン 912	247	千スイスフラン 1,816

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2015年8月25日～2016年2月23日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,196,073千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,414,202千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.49

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年8月25日～2016年2月23日)

### 利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年2月23日現在)

### 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
食料品 (100.0%)				
日本たばこ産業	33.6	50.6		226,485
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	33 1	50 1	226,485 < 2.6% >

(注) 銘柄欄の ( ) 内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の < > 内は、純資産総額に対する評価額の比率。

### 外国株式

銘柄	柄	期首(前期末) 株 数	当 期 末		業 種 等	
			株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル 千円		
AUTOMATIC DATA PROCESSING		102	240	2,074	233,788	ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A		310	347	3,487	392,977	ソフトウェア・サービス
WALT DISNEY CO/THE		218	254	2,448	275,891	メディア
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A		691	803	3,190	359,418	食品・飲料・タバコ
3M CO		79	52	822	92,642	資本財
MOODY'S CORP		65	76	669	75,456	各種金融
TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A		356	619	1,694	190,971	メディア
TWENTY-FIRST CENTURY FOX - B		572	664	1,815	204,523	メディア
ALTRIA GROUP INC		569	603	3,695	416,426	食品・飲料・タバコ
PROCTER & GAMBLE CO/THE		236	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
NIKE INC -CL B		119	201	1,213	136,698	耐久消費財・アパレル
MICROSOFT CORP		976	1,211	6,380	718,926	ソフトウェア・サービス
INTUIT INC		81	93	917	103,347	ソフトウェア・サービス
TIME WARNER INC		377	227	1,492	168,167	メディア
REYNOLDS AMERICAN INC		—	720	3,587	404,252	食品・飲料・タバコ
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL		266	224	2,077	234,126	食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES		364	423	3,095	348,742	ソフトウェア・サービス
MEAD JOHNSON NUTRITION CO		35	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	5,426 17	6,764 16	38,664 —	4,356,358 < 50.9% >	
(ユーロ・ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE		179	208	1,468	182,574	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	179 1	208 1	1,468 —	182,574 < 2.1% >	

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数		評 価 額
		株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ…イタリア)		百株	百株	千ユーロ	千円
DAVIDE CAMPARI-MILANO SPA		627	728	528	65,685
小 計	株 数	627	728	528	65,685
	株 数	1	1	-	< 0.8% >
(ユーロ…フランス)					
SANOFI		166	186	1,324	164,571
L'OREAL		-	180	2,835	352,424
PUBLICIS GROUPE		118	29	170	21,177
PERNOD RICARD SA		155	180	1,779	221,168
小 計	株 数	440	577	6,109	759,340
	株 数	3	4	-	< 8.9% >
(ユーロ…オランダ)					
RELX NV		216	410	617	76,796
小 計	株 数	216	410	617	76,796
	株 数	1	1	-	< 0.9% >
ユーロ計	株 数	1,463	1,924	8,724	1,084,396
	株 数	6	7	-	< 12.7% >
(イギリス)				千イギリスポンド	
UNILEVER PLC		1,058	1,045	3,221	513,129
RELX PLC		198	594	731	116,535
RECKITT BENCKISER GROUP PLC		518	648	4,266	679,614
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC		1,012	1,042	4,025	641,304
IMPERIAL BRANDS PLC		58	-	-	-
EXPERIAN PLC		727	844	1,000	159,329
小 計	株 数	3,573	4,174	13,244	2,109,913
	株 数	6	5	-	< 24.7% >
(スイス)				千スイスフラン	
NESTLE SA-REG		810	686	4,885	551,208
小 計	株 数	810	686	4,885	551,208
	株 数	1	1	-	< 6.4% >
合 計	株 数	11,275	13,549	-	8,101,876
	株 数	30	29	-	< 94.7% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2016年2月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円	%
	8,328,362	97.1
コール・ローン等、その他	250,530	2.9
投資信託財産総額	8,578,892	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (8,271,214千円) の投資信託財産総額 (8,578,892千円) に対する比率は96.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=112.67円	1 ユーロ=124.29円	1 イギリスポンド=159.30円	1 スイスフラン=112.83円
1 スウェーデンクローネ=13.26円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年2月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,617,901,554
コール・ローン等	212,906,575
株式(評価額)	8,328,362,583
未収入金	63,668,919
未取配当金	12,963,477
(B) 負債	64,884,722
未払金	64,884,722
(C) 純資産総額(A-B)	8,553,016,832
元本	4,160,144,339
次期繰越損益金	4,392,872,493
(D) 受益権総口数	4,160,144,339口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,559円

<注記事項>

①期首元本額	3,619,057,174円
期中追加設定元本額	1,121,282,078円
期中一部解約元本額	580,194,913円

また、1口当たり純資産額は、期末2.0559円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	3,413,021,382円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)	747,122,957円
合計	4,160,144,339円

○損益の状況 (2015年8月25日～2016年2月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	56,608,091
受取配当金	56,539,765
受取利息	68,326
(B) 有価証券売買損益	△ 448,239,014
売買益	601,635,641
売買損	△1,049,874,655
(C) 保管費用等	△ 2,341,518
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 393,972,441
(E) 前期繰越損益金	4,123,657,095
(F) 追加信託差損益金	1,324,782,119
(G) 解約差損益金	△ 661,594,280
(H) 計(D+E+F+G)	4,392,872,493
次期繰越損益金(H)	4,392,872,493

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

GICS (世界産業分類基準) について

Global Industry Classification Standard (“GICS”) は、MSCI Inc. (以下MSCI) とThe McGraw-Hill Companies, Inc.の事業部門であるStandard & Poor’s (以下S&P) が開発し、両者が排他的知的財産および商標を有しています。三菱UFJ国際投信は、許諾を得て利用しています。GICSおよびGICSの基準および分類作業に関連したMSCIおよびS&Pとその関係会社あるいは第三者(以下、MSCIおよびS&Pとその関係会社)は、当該基準および分類(あるいは、これらを利用した結果)に関して何らかの保証や表明を行うものではありません。また、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、GICSの独創性、正確性、完全性、販売可能性や特定の利用目的に対する適合性等を保証するものではありません。

上記のいずれをも制限することなく、いかなる場合においても、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、損害が発生する可能性を知悉していた場合であっても、直接的な損害、間接的な損害、特別な損害、懲罰的損害賠償、結果としての損害、その他の損害(逸失利益を含む)について、その責を負いません。